

GD-15,15C

JWWA

1

減
圧
弁

GD-15型減圧弁は、集合住宅等の戸別給水用減圧弁として、低騒音給水を実現した製品です。給水側圧力の変動に対して、極めて安定した二次側圧力を保持できるとともに、ストレーナを内蔵し、かつ小型軽量に設計されていますので配管取扱いが容易です。GD-15C型減圧弁は逆止め機構を内蔵し、給水本管への逆流を防止できます。



■ 特 長

1. 減圧弁自身の騒音を解消しましたので、深夜の給水でも安心です。
2. 給水圧力は、標準設定圧力に調整済のため、現地での圧力調整は不要です。
3. 弁構造は圧力バランス構造を採用していますので、一次側圧力に影響されることなく二次側圧力を常に一定に保ちます。
4. ストレーナを内蔵していますので、ごみ、砂等の混入があった場合これを採取し、弁部への噛み込みや二次側への流出を防ぎます。
5. ストレーナキャップは、工具を使用せず取外しができます。また、ストレーナとストレーナキャップが一体ですので、弁箱内にストレーナが残らず保守点検が容易です。
6. 密閉構造ですので、ダイヤフラムが破損しても流体が外部に流出することがありません。
7. 配管の取付け方向（水平・垂直）は任意です。

■ 仕 様

呼 び 径		15A	20A
適 用 流 体		水道水	
一 次 側 圧 力		0.1~1.0MPa	
二 次 側 圧 力		0.05~0.25MPa〔標準設定0.2MPa〕	
弁前後の最小差圧		0.03MPa	
最 大 減 圧 比		10:1	
最小調整可能流量		0.5L/min	
流 体 温 度		5~60℃ ※	
定 格 流 量		25L/min (差圧0.10MPa以上の場合は40L/min)	30L/min (差圧0.10MPa以上の場合は50L/min)
材 質	弁 箱	青銅(NPb処理)	
	弁 棒	黄銅	
	弁 体	合成ゴム	
	ダイヤフラム	EPDM(布入り)	
接 続		JIS Rc1/2	JIS Rc3/4
二 次 側 耐 圧		二次側最高使用圧力の1.2倍	

●GD-15C型の逆止め機構の閉止圧力は、0.005MPa以上です。

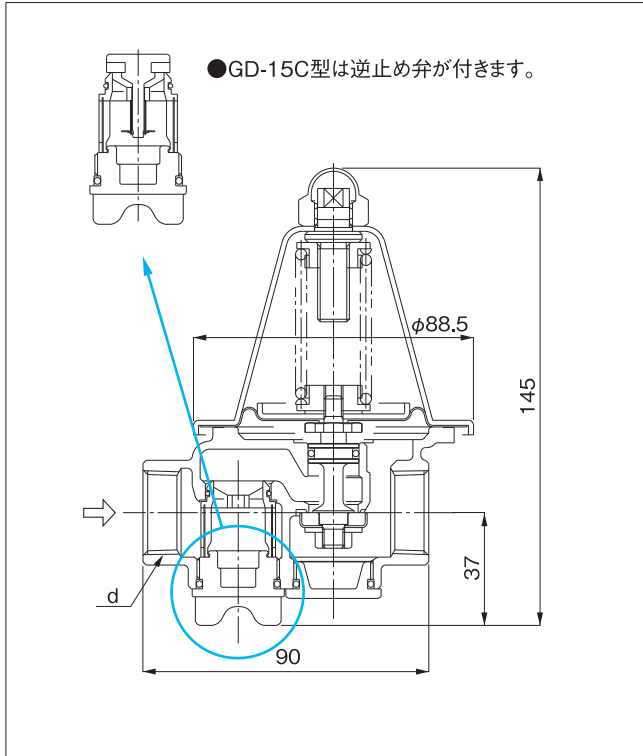
●ストレーナ網目は40メッシュです。

●保護カバー(発泡スチロール)は難燃材を使用しています。

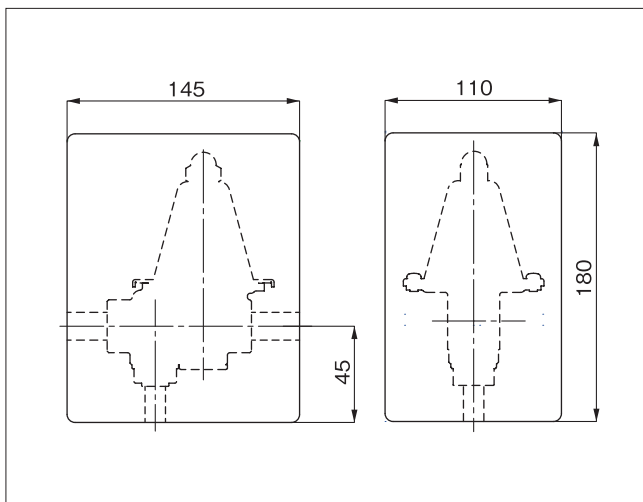
※給湯側にご使用の場合は、お問い合わせください。

■ 寸法及び質量

呼び径	d	質量(kg)
15A	Rc 1/2	0.87
20A	Rc 3/4	0.87

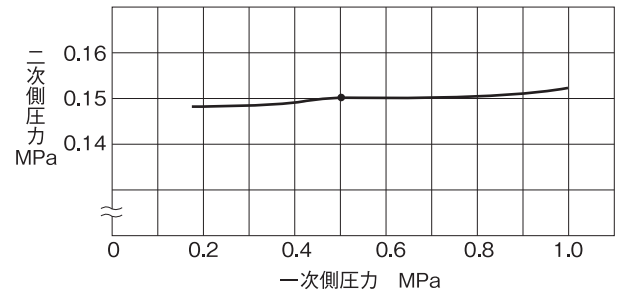


■ 保護カバー寸法



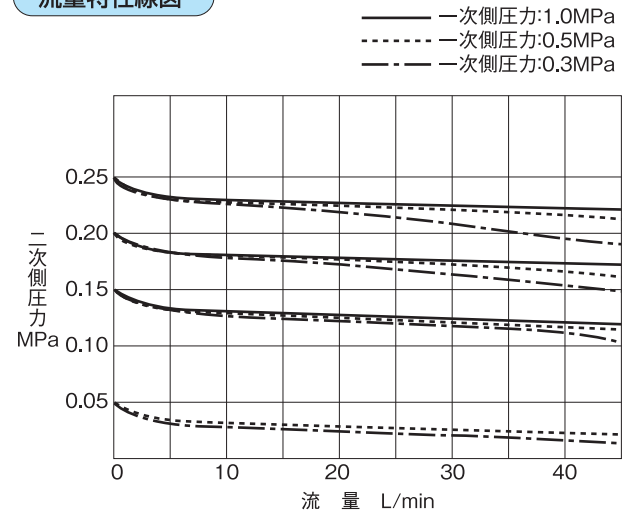
■ GD-15、15C型減圧弁資料

圧力特性線図

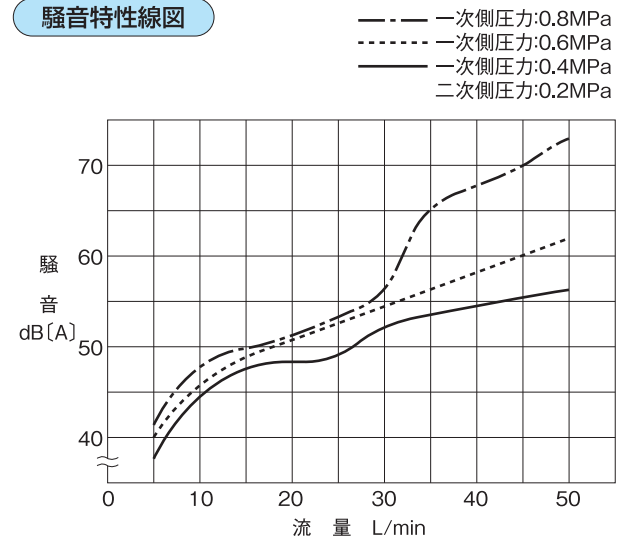


一次側圧力0.5MPaのときに二次側圧力を0.15MPaに設定し、一次側を0.18~1.0MPaに変化させた時の二次側圧力の変動を示す。

流量特性線図



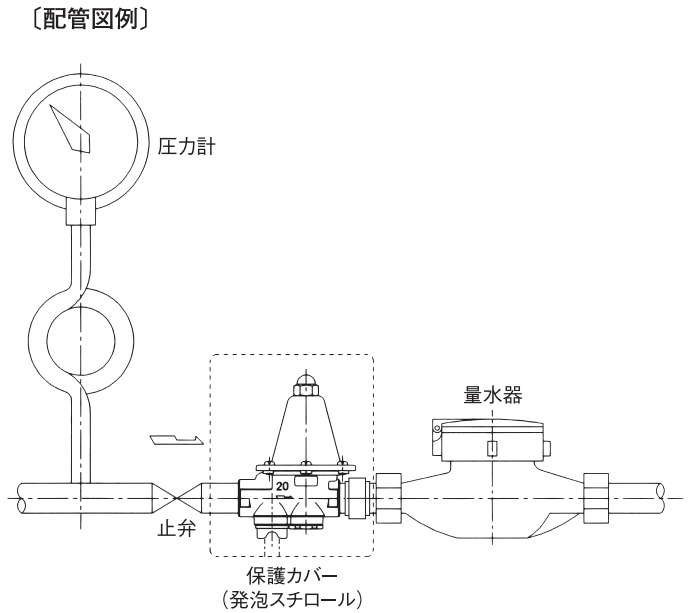
騒音特性線図



※供試弁からマイクロホンまでの距離15cm
※暗騒音:35dB(A)

■ 取付けに際しての注意事項

1. 本体の矢印と流れ方向が一致するように配管してください。
2. 配管の取付け方向(水平・垂直)は任意です。
3. 減圧弁前後にユニオン継手を使用しますと、保守・点検が便利です。
4. 配管内のごみ、砂等の異物をよく除去してから取付けてください。
5. 設定圧力は、標準設定圧力に調整済ですので、必要のない限り調節ねじに触れないでください。設定圧力を変更する場合は、ラベルに表示してある範囲内で調整してください。
6. ストレーナに、ごみ、砂等の異物がたまると、水の出が悪くなりますので、定期的に掃除してください。特に設置当初は配管工事中に混入した異物がたまりやすいので、給水開始後早めに一度点検してください。
7. ストレーナ点検の際には、50mm(GD-15C型は55mm)以上のスペースが必要です。
8. 塩化ビニル管類の配管施行時の注意
塩化ビニル管類用の接着剤が弁内に流入しますと、合成ゴムが侵されることがありますので、施行の際には十分ご注意ください。
9. 製品の二次側は、青銅製又はステンレス製ニップルでの配管を推奨いたします。鋼管(ライニング鋼管等)で配管しますと、鋼管端面の腐食が年々増加し、製品の二次側検出部を塞ぎ、水が流れにくくなる恐れがあります。



■ 圧力調整方法

減圧弁の調整方法を間違えますと、ハンチング・ウォーターハンマー等を起こしたり、要部を著しく損傷したりする恐れがありますので、調整する場合は、必ず下記の順序にて行ってください。

1. 一次側止弁をゆっくりと全開にして二次側止弁は、流体が僅かに流れるように少し開きます。
2. キャップを外し、二次側の圧力計を見ながら調節ねじを回転させます。
調節ねじを反時計方向(左回転)に回すと二次側圧力が上がり、時計方向(右回転)に回すと二次側圧力が下がります。
3. 二次側止弁をゆっくりと全開にします。
4. 調整完了後、キャップを締めてください。

